

事務事業評価シート 平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

事務事業名				コード	15400	一時預かり事業ほか2事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	担当班	保育班
基本施策				7	7	子育て支援の充実	根拠法令	旭市一時預かり事業実施規則他	3	3	1	☒ 主な事業		
施策の展開				15	15	結婚・子育て環境の整備	戦略事業	69	一時預かり事業			☐ 国土強靱化地域計画		
施策の展開							戦略事業					☐ 新市建設計画		
												☐ 定住自立圏構想		
												☐ 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返		○市内に居住し、かつ、保育所や幼稚園における保育を受けていない生後6ヶ月から就学前までの児童を対象とし、保護者が家庭での保育が困難な場合等、一時的に保育所で受け入れ保育をする。		
☐ 開始年度不詳		○利用料(1時間当たり):300円(0～2歳児)、200円(3歳児以上)。別途食事代300円/日(0～2歳児)、250円/日(3歳児以上)		
☐ 期間限定複数年度		※12公立保育所、1公設民営保育所。私立保育所は保育所毎に設定		
平成 年度～		○平成26年4月から、いいおか保育所に一時預かり専用室を新設。		
平成 年度まで		○事業を実施している私立保育所へ、国の基準に基づき補助金を交付。		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
家庭で保育している世帯で、急な事情で保育できない場合や、保護者の育児の負担を軽減するための支援が必要なため。		○核家族化により、家庭で保育する保護者の育児の負担が増えている。		H25ニーズ調査で、実際利用している保護者においては、「リフレッシュ目的」が65.7%、「冠婚葬祭、学校行事等」64.6%となっている。利用希望の日数は「年に10日～19日」が28.3%で最も多くなっている。
平成24年度から公立全保育所で実施することとなった。		○出生数は減少しているが保育所、幼稚園に預ける世帯の割合は増えている。		

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算)		単位:千円
1.委託料	2,840	千円
2.賃金・共済費	5,092	千円
3.備品購入費	993	千円
4.負担金補助及び交付金	6,833	千円
5.その他	317	千円
② 特定財源の内訳(27年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	4,812	千円
2.都道府県支出金	4,812	千円
3.地方債	0	千円
4.その他	3,781	千円

事業費	費目内訳	1.委託料	千円	1,420	2,840	2,840	2,840	2,840
		2.賃金・共済費	千円	2,391	2,348	4,944	5,092	5,355
		3.備品購入費	千円	170	742	822	993	679
		4.負担金補助及び交付金	千円	5,880	5,890	6,833	6,833	11,490
		5.その他	千円	264	187	292	317	306
	財源	事業費計(A)	千円	10,125	12,007	15,731	16,075	20,670
		1.国庫支出金	千円	4,352		5,345	4,812	6,648
		2.都道府県支出金	千円		6,003	4,716	4,812	6,648
		3.地方債	千円					
		4.その他	千円	2,525	2,139	3,026	3,781	2,596
5.一般財源	千円	3,248	3,865	2,644	2,670	4,778		

前年度増減理由	社会保険料の増のため
---------	------------

従事職員数	常時	30人	最大	30人	×	298日	=	延べ	8,940人
-------	----	-----	----	-----	---	------	---	----	--------

前年度増減理由	社会保険料の増のため
---------	------------

従事職員数 常時 30人 最大 30人 × 298日 = 延べ 8,940人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

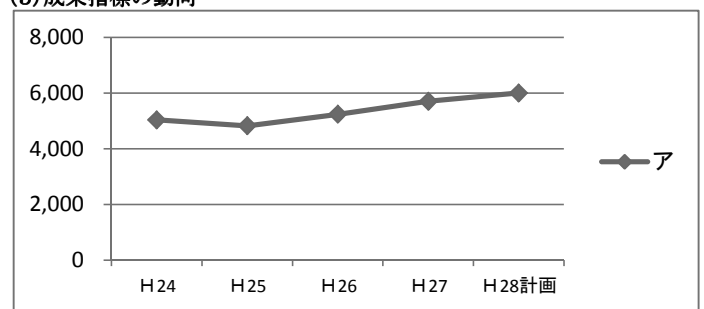
手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	27年度実績(27年度に行った主な活動)								
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	対象意図: 市内の幼稚園及び保育所に入所していない就学前までの児童及び保護者 急用などで家庭で保育ができない時や、育児疲れからリフレッシュしたい時など、一時的に預けることで家庭での育児負担が軽減される。								
手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	27年度実績(27年度に行った主な活動)								
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	対象意図: 市内の幼稚園及び保育所に入所していない就学前までの児童及び保護者 急用などで家庭で保育ができない時や、育児疲れからリフレッシュしたい時など、一時的に預けることで家庭での育児負担が軽減される。								

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい	①		
	普通			
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果	①	(1)		
	②			
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増=成果向上 ☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下 ☐	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)					
	③ 今年度取組事項 (今年度新たに取り組む事項について記載)	時期	内容		今後の方向性	
		H28.4.1	あさひこひつじ幼稚園が事業を開始する。公立保育所に於いて、事前登録制や空き状況の開示に向けて準備を進める。		☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他 ()